

概要

ホブズボームの「短い20世紀」というタームが第一次世界大戦(ロシア革命)とソ連解体という事件によって定義づけられているように、20世紀は社会主義が大きな影響力を持った時代だといえる。本研究では社会主義文化が国境を越えて複数の地域に伝播していった過程を、一方では旧ソ連・中東欧・中国・ベトナム・キューバなどの社会主義国(いわゆる東側)の公式文化、他方では日本・欧米(いわゆる西側)における左翼文化の双方を視野に入れながら、複数の地域研究者の協力によって明らかにすることを目的とする。

時期区分

三つの時期設定はソ連の歴史に基づいており、その他の地域には必ずしも当てはまらない。社会主義革命の度合いの時間差・不一致が、文化の伝播において意味の変容をもたらした点に着目する。

前期社会主義期 (1910～1940年代)

プロレタリア文化・社会主義リアリズムの形成。前衛・革命文化の伝播

後期社会主義期 (1950～1980年代)

東欧、中国、キューバ、ベトナムの革命。西側の左翼文化。

ポスト社会主義期 (1990年代～)

ソ連解体。社会主義ノスタルジー。中国の台頭。サンダース現象。

テーマ設定

翻訳・翻案

テキストの意味の変容・土着化。大衆の啓蒙・社会主義的近代化と視覚メディアの重要性。

人の移動

留学、知識人の交流、亡命・移民。ライフヒストリー研究。

記憶・ノスタルジー

革命物語・英雄の聖典化。ソ連ノスタルジー、社会主義文化のリメイク。

研究方法の特徴

ひとつのテーマに2人以上の研究者が共同で研究報告や論文発表を行う。自分が専門とする地域の文化だけでなく、比較対象となる地域について少なくとも修士課程程度の知識を習得し、単独の地域を超えた「1.5地域」の研究者となることが望まれる。

前期社会主義期

伝播

- 1.ドイツ・ソ連から欧米・日本
- 2.日本から中国・朝鮮

後期社会主義期

革命の聖典化(形式化)
留学のネットワーク

翻訳・翻案

人の移動

ポスト社会主義期

ノスタルジー・リメイク
中国の台頭
サンダース現象

記憶・ノスタルジー

研究者一覧

越野剛(慶應義塾大学) ロシア文学

田村容子(北海道大学) 中国文学・演劇

今井昭夫(東京外国語大学) ベトナム近現代史

久野量一(東京外国語大学) キューバ文学

村田裕和(北海道教育大学) 日本プロレタリア文学

杉村安幾子(日本女子大学) 中国文学

梅津紀雄(工学院大学) ロシア音楽

亀田真澄(中京大学) ユーゴスラヴィア文化

坂川直也(京都大学) ベトナム映画

アナスタシア・フィオードロワ(ロシア高等経済学院) 日ソ映画交流

研究活動

研究会「社会主義文化のグローバルな伝播と越境」(定期開催)

社会主義リアリズム文学研究会(定期開催)

2022年度国際シンポジウムの開催計画

田村・越野共著論文「中国映画における『白鳥の湖』の受容と変奏」『饗餐』28号(2020年)